

# Googleは楽しく面白い

平成 17 年 3 月 20 日

佐藤 謙一

初心者の皆様、「Google」を知っていますか。とても楽しく面白いので紹介いたします。

どんな調べ物も、一発で調べられます。私が Google に興味を持ったのは、札幌のメールフレンドから、「幽霊蘭を探してほしい」とメールが飛び込んで来たときに、インターネットの Google で見つけることができたときからです。

私は、4 年前に 71 歳でパソコンを独力で覚え、73 歳で、ホームページを作りました。先ず、私のホームページを Google で見つけてみましょう。インターネットを開いて、アドレスに google.co.jp と記入し、Google のホームページを開いてみましょう。

タイトルは「四季のギャラリー」ですから、Google の検索欄に「四季のギャラリー」と入力します。(次の第 1 図を見てください) 第 2 図は、その検索結果です。何と 424 件もありましたが、3 番目にヒットしていました。「四季のギャラリー」の画面を見てみましょう。(アドレスは、<http://homepage3.nifty.com/domestic/index.htm>)

第 1 図

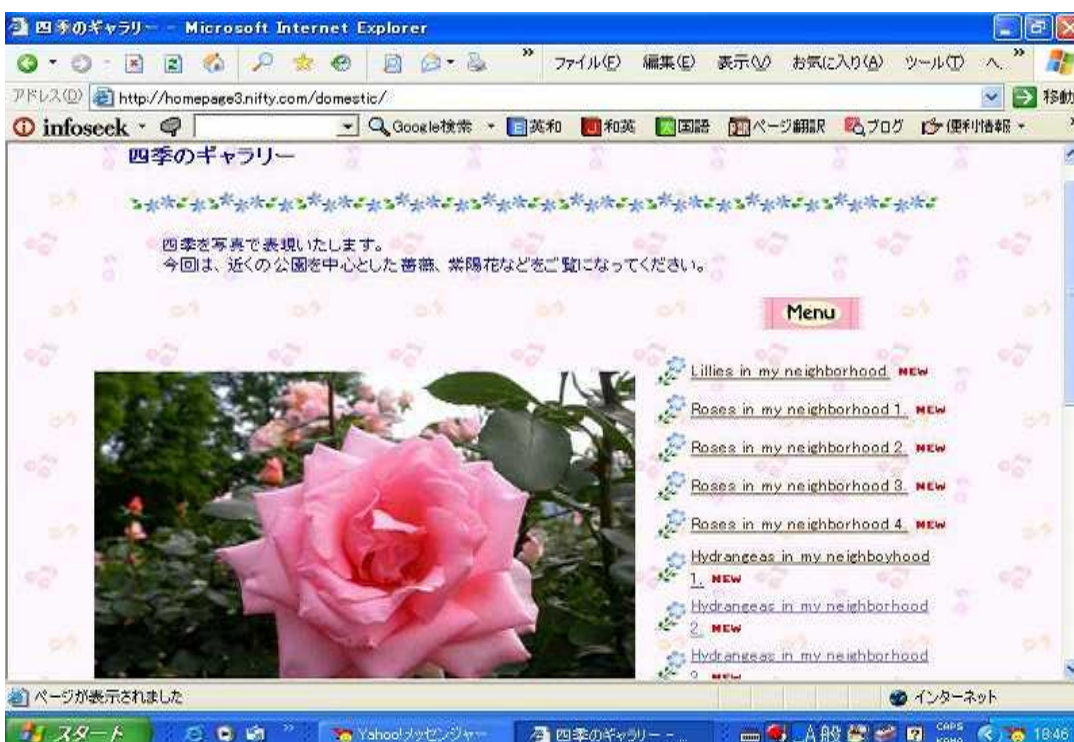


第 2 図



第 1 図には、「四季のギャラリー」が入力されています。第 2 図は、何と、424 件もあり、第 3 番目にヒットしています。

では、四季のギャラリーの website (第 3 図) を見てみましょう。



左の第 3 図ですが、8,237 人の来客数を数えています。大変有難い事です。

このホームページは、2003 年の 6 月に作ったものですから、21 か月たちます。21 か月で 8,237 人ですから、1 日に 13 人以上の方が来られた計算になります。今更ながら驚きです。

ところで、私の名前で検索してみましょう。さて何か出てくるでしょうか。

第4図



第5図



第4図で私の名前を入力いたしました。すると、出て来ました。右隣の第5図を見てください。えーっと、私も吃驚しましたが、第1番目に私のホームページが載っていました。709件中の1番目に「四季のギャラリー」がランクされていました。(練習のときには気づいていませんでした)

今日、Blog が盛んに使われています。皆様何かにチャレンジしてみましょう。

## これから、「Google」の説明をいたします。

「Google」の魅力はなんといってもシンプルなインターフェースと操作性です。検索窓にキーワードを入力し、「Enter」キーを押すだけで、42億以上のホームページからキーワードに関連するページをピックアップし、瞬時に(0.5秒位)検索結果を表示してくれます。通常のホームページだけでなく、インターネット上の画像やニュースグループのトピックまで探してくれます。

この42億のホームページを1か月に1回インターネットを巡回し、42億の登録ページの文書、画像などすべてのデータを保存しています。このデータにより、キャッシュでは覚えています。もし、検索結果のリンク先のページが消えていても、下線付きの「キャッシュ」(第2図・第5図参照)をクリックすれば、消えているページをも見ることが出来ます。先に示した検索の結果を見てみましょう。

「四季のギャラリー」は、2004年12月22日のものです。1か月以上前のものを覚えてくれています。つまり、「Google」さえ経由すれば、ホームページが表示されないエラーは、無くなったのも同然なのです。インターネット上から消えてしまうコンテンツも少なくないので、全てのインターネットユーザーが重宝できます。

第2図・第5図を振り返ってみましょう。「関連ページ」とは、リンク先ページと似た内容のページを一覧表示する機能です。「四季のギャラリー」では、nifty 関連のURLが多く出てきます。

ここには載っていませんが、例えば「ページビュー」というキーワードで検索し、ヒットしたコンピューター用語辞典サイトの「関連サイト」をクリックすると、同様の用語辞典サイトが一覧表示されます。同じキーワードについて多角的に情報を収集したいときなどに便利です。

## 次に、4つの基本検索方法を紹介します。

### 1 「And 検索」で検索対象を絞り込みます。

例えば、「ウィルス検索」を実施したい場合、単にウィルスでは、人間の病気のウィルスまで、入ってしまいます。

そこで『ウイルス Windows XP』と入力しますと、コンピューターウイルスだけを検索します。  
ウイルスと Windows XP との間に、スペースキーで、空白を入れてください。空白が and を意味します。

2 「NOT 検索」で不要な検索結果を除外します。

NOT 検索は除外したい語句の前に「- (マイナス記号)」を入れます。

例えば、牛丼を調べたいときに、「吉野家」をなぞ期待場合は『牛丼 -吉野家』と入力します。吉野家は含まれず、吉野家以外の牛丼についての検索結果が得られます。マイナス記号の前に空白を入れてください。

3 「OR 検索」は検索範囲を広げます。

OR 検索とは「OR」で区切った語句のいずれかが含まれているページを検索します。

例えば、ベストセラー書籍「世界の中心で愛をさけぶ」について調べたい場合、OR で「セカチュー OR 世界の中心で愛をさけぶ」と入力します。すると、比較的若い世代のファンが作ったファンサイトも数多くヒットし、幅広い検索が行えます。

4 「フレーズ検索」で検索簡易を広げます。

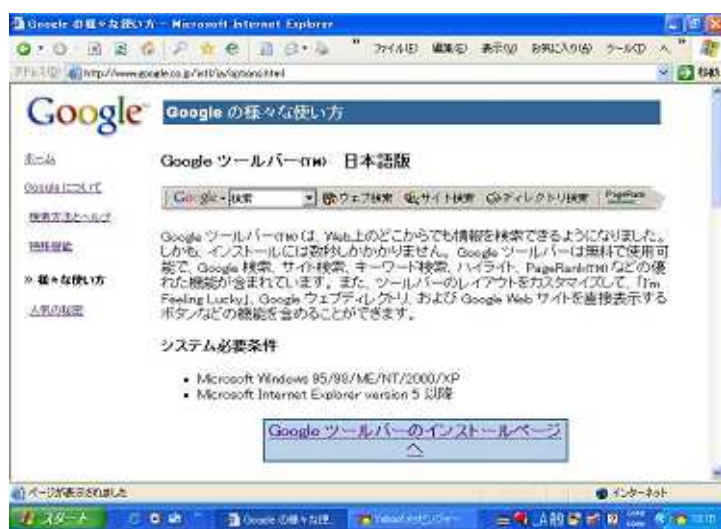
例えば、DVD レコーダーを調べたい場合、このまま入力すると、「テープレコーダー」間で検索してしまいますので、“ ” を利用します。“ ” の間にキーワードを入れます。『“ DVD レコーダー”』と入力して検索しますと DVD レコーダーだけが検索されます。

話は変わります。ブラウザのツールバーに「Google」の検索機能を追加します。「Google」のホームページの「Google について」の項目を (第6図) をクリックしてください。

第6図



第7図



第7図の下の方にある「Google ツールバーのインストールページへ」をクリックしてください。すると、次の第8図のようにブラウザに「Google のツールバー」が出来ます。



ホームページのツールバーにある第8図の「Google の検索欄」へキーワードを入力して、「ウェブ検索」をクリックしてください。すると、数多くのホームページが検出されます。  
なお、この図には、「Infoseek」の検索欄も入っています。

前にお話しました **4 つの基本検索方法** を次のページから実施します。

# 1 「ANDの検索」

コンピューターのウイルスを検索してみます。「ウイルス Windows XP」を検索します。

第9図

第10図



# 2 「NOT検索」

牛丼で、「吉野屋を除く」を検索してみます。(第11図)

# 3 「OR検索」

セカチューのOR検索を実施します。(第12図)



# 4 「フレーズ検索」

DVDレコーダーを検索します。(第13図)

(第14図)



少々、専門的になり過ぎましたので、ここで、私に IDN を勧めてくださった方、27 期卒業生の歌寿人さんの、「Blog」をお目にかけます。タイトルは「Blog 句会」です。検索欄へ「Blog 句会」を入力して検索しますと一番目にありましたので、早速開いてみます。第 15 図で、「Blog 句会」を入力、第 16 図は検索結果です。

第 15 図

第 16 図



アドレスは、<http://blog.livedoor.jp/senior21/> です。(第 17 図)



この方のお勧めで、私は、受講しています。この「Blog」は、NHK の「シニアのパソコン講座」で紹介された「Blog 句会」です。短歌の「上の句」が「如月に 一重と八重の 花衣」のように示されますので、読者は、「下の句」をつけて連歌を作るのです。皆様もどうぞご投稿されてください。

次に、私と同期で今回受講されている okei さんのホームページを紹介いたします。Blog「江戸川日和」を探しましたが、素直には見つかりませんでした。しかし、ある人のホームページに投稿されていたので、その中から「江戸川日和」を見つけることが出来たので、その経過を発表します。(アドレスは <http://blog.livedoor.jp/okei56/> です)

第18図



第19図



上左は第18図、  
上右は第19図  
下の大きい画面が第20図です。  
第18図は、検索中のものです。  
「江戸川日和が見つかりませんので、検索中の画面にあった第19図の「トラックバックカフェ」の中を検索したところ「江戸川日和」(1月24日号)が入っていました。

そこから、「江戸川日和」を見つけてクリックして出てきたのが、最後の画面「江戸川日和」です。

まとまりの無い拙いPresentationは、これで終わりますが、皆様の参考になれば、幸いです。

以上

次ページに「参考」として添付いたしましたが、「Google 検索結果の見方」があります。参考として、是非、お読みになってください。

(参考)

これから先は、「Google の検索結果の見方」が詳細に説明してありますので、是非御読みになってください。



ちょっと大きい第5図を説明いたします。これは、「Google 検索結果の見方」です。

#### A トップリンク

利用したい Google サービスのリンクをクリックします。ウェブ全体やイメージの検索、Google グループ(Usenet 掲示板アーカイブ)の閲覧などが出来ます。

#### B Google 検索ボタン

このボタンをクリックして、検索を実行します。また、Enter キーを押しても検索を実行できます。

#### C 検索オプション

必要に応じて、検索を限定するオプション設定ページへリンクします。

#### D 検索ボックス

探したい情報の手がかりとなるキーワードを入力して「Google」検索ボタンをクリックするか、Enter キーを押すと、対象となる検索結果が表示されます。

## E 表示設定

表示言語の設定、検索言語の設定、1 ページあたりの検索結果の表示件数、検索ウィンドウの設定などを指定するページにリンクします。

## F 統計バー

この行では、検索結果の件数や検索にかかった時間が表示されます。

## G ヒント

実行した検索をもとにより効果的な検索を行うための情報です。Google 独自の機能や、効率を上げるためのツールに関する情報を提供します。

## H ページタイトル

該当ページからキーワードが一致した部分を抜粋したテキストです。キー文字が太文字でハイライトされているので、リンクを辿らなくてもどのような文脈でキーワードが使われているか分かります。

## I サイズ

検索最初の行には、検索されたページのタイトルが表示されます。タイトルの代わりに URL が表示されることもあります。これはページにタイトルがついていないか、Google がそのページの全内容をクロールしていない為、タイトルが不明な場合です。他のインデックス付けされたページからインクされていれば、インデックス付けされていないページでも有効な検索結果として表示されます。

## J 検索結果の URL

該当ページのウェブサイトアドレス。

## K サイズ

検索されたページのテキスト部分のサイズです。まだインデックス付けが行われていないサイトに関しては省略されます。

## L キャッシュ

このリンクをクリックすると、インデックス付けの時点で保存されたページのコンテンツが表示されます。Google では、該当ページのサーバがダウンした場合でも、検索が行えるよう多数のウェブページをキャッシュに格納しています。キャッシュ済みバージョンでもキーライトがハイライトされます。

## M 関連ページ

このリンクをクリックすると、特定の検索結果に関連したページを自動的に検索します。

## N 検索結果のインデント表示

同じ Web サイトから複数の結果が検索された場合、最も関連ある結果が最初に表示され、その他の関連ページはその下にインデント表示されます。



○ その他

同じサイトから2つ以上の検索結果が見つかった場合に、これをクリックすると、その他の検索結果ページが表示されます。

以 上